

横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 病院のご案内

脳卒中の急性期治療で、ダメージを減らす


リハビリテーションで、失った機能を取り戻す

どちらかじゃない、あなたの全部をみて、
“動ける未来”へ

背骨を治し、起き上がる

足を治し、歩いていく





ごあいさつ

横浜市立脳卒中・神経脊椎センター

病院長 城倉 健

地域医療機関の皆様には、日頃より当院の診療にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

当院は、脳卒中やパーキンソン病などの神経疾患、脊椎疾患、膝関節疾患、心不全などの循環器疾患に対し、高度かつ専門的な治療を提供する専門病院です。特に脳卒中治療では、脳卒中専門医や血管内治療専門医を複数配置し24時間365日対応を行い、血栓溶解療法や血管内治療、開頭手術も迅速に実施しています。日本脳卒中学会の「一次脳卒中センター(PSC)」にも認定され、超急性期から回復期まで一貫した診療体制を整えております。

また、頰椎症や腰椎症の治療に加え、側弯症などの脊柱変形疾患の治療に対しても、低被爆で正確な立位全脊椎骨形態を評価できるEOSイメージングシステムなどの専門機器を駆使し、積極的に取り組んでいます。高齢者の歩行障害の原因として今後ますます増加する膝関節疾患に対しては、人工関節手術支援ロボットを活用し、安全かつ専門性の高い治療を行うことで、地域の口コモ対策に貢献しています。リハビリテーションにも力を入れ、専門医に加え、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が連携し、早期の社会復帰・在宅復帰を支援しています。

全ての患者の皆様から、「この病院があってよかった」「この病院に来てよかった」と喜んでいただけるよう、職員が一丸となって努力してまいります。今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

理念

安心・納得できる安全・誠実で、高度な専門医療をめざします。

外来予約のご案内

予約受付
受付時間

TEL 045-753-2500(代表)
平日 8:30~17:00

当院では、患者さんの待ち時間短縮のため、原則「**予約制**」としています。

WEBでのお申込は
こちら



1. 外来受付時間

初診 8:30~11:30
再診 8:30~16:30



2. 外来休診日

土曜日、日曜日、祝日、
年末年始
(12月29日~1月3日まで)



3. 主な診療科

- ・脳神経内科
- ・脳神経外科
- ・整形外科
- ・リハビリテーション科
- ・循環器内科
- ・眼科



当日の持ち物

初診の方

- ・マイナ保険証又は、資格確認書
- ・各種医療証（お持ちの方）
- ・紹介状、画像データ（お持ちの方）
- ・おくすり手帳（お持ちの方）
- ・診察券（診療カード）（お持ちの方）

再診の方

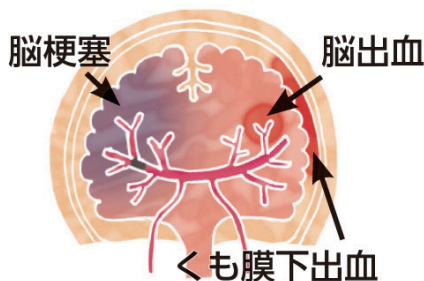
- ・マイナ保険証又は、資格確認書
- ・各種医療証（お持ちの方）
- ・おくすり手帳（お持ちの方）
- ・診察券（診療カード）（お持ちの方）



※マイナ保険証の利用により、高額療養費制度における限度額を超える支払いが免除されます。限度額適用認定証の申請手続は不要です。

原則として紹介状が必要です

当院は令和5年10月1日付で、神奈川県から「紹介受診重点医療機関」として公表されました。「紹介受診重点医療機関」とは、外来機能の明確化・連携を強化し、患者の流れの円滑化を図るため、「医療資源を重点的に活用する外来」を地域で基幹的に担う医療機関のことです。当院を受診希望される場合は、原則として他の医療機関からの紹介状が必要となります。紹介状をお持ちでない患者さんでも受診は可能ですが、その場合は初診に係る費用（選定療養費）として7,700円を自費で負担いただきます。



脳卒中ってどんな病気？



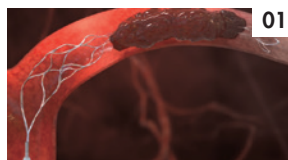
突然、顔が半分だけ下がる、腕が上がらない、うまく喋れない、めまい、激しい頭痛などの症状が出たら脳卒中の疑いがあります。

日常的に軽い頭痛やものが二重に見えることが続く場合も、脳卒中の可能性があります。

治療法

01 脳梗塞

血管が詰まることで発症します。血管の詰まりの原因である血の塊（血栓）を溶かすt-PA療法や、カテーテルという管で血管の中から血栓を取り出す血管内治療などで治療ができます。



02 脳出血やくも膜下出血

血管や血管にできたこぶが破れることで発症します。止血剤や、血圧を下げる薬による薬物療法や手術による治療をおこないます。



03 最近では

脳卒中になる前に、脳卒中の原因を取り除く治療があります。特に死亡率の高いくも膜下出血の対策として、血管のこぶに金属の糸を詰めるコイル塞栓や、こぶの根元を挟んで血が流れないようにするクリッピング手術などがあります。



24時間365日、脳卒中治療全般に対応しています！

当院では脳神経内科、脳神経外科が協力し、救急応需を行っています。患者さん一人ひとりに適した治療方法を選択し、迅速かつ正確な専門の治療を提供しています。

水頭症の治療

◆特発性正常圧水頭症 (iNPH) とは

特発性正常圧水頭症 (iNPH : idiopathic Normal Pressure Hydrocephalus (別名:ハキム病)) は通称『治療可能な認知症』と呼ばれております。「特発性 (idiopathic)」とは、明らかな原因となる基礎疾患がないという意味で、思い当たる誘因もないまま、ゆっくりと進行することが特徴です。高齢になって発症するため、**歩行障害、認知機能障害、排尿障害**といった症状は、加齢に伴う身体機能の低下や他疾患の併存のため、患者さんご本人やご家族など、周囲の視点においても、iNPH の症状として認識されにくい傾向があります。

高齢者人口の約 1.1%、およそ 37 万人の iNPH 患者がいると試算されていますが、実際に診断・治療を受けた患者数はこれより少なく、未診断のままの患者さんが多数存在すると考えられています。



◆主な症状

歩行障害は最も早期から出現しやすい症状であり、

- ✓ 歩行速度の低下
- ✓ 小刻みでよちよちとした歩行
- ✓ 足を開いたがに股歩行
- ✓ 足を挙げずに歩く「すり足」
- ✓ 方向転換が苦手で転倒しやすい



といった特徴がみられます。病状が進行すると、立位や座位の保持が困難となることもあります。また、日常生活動作全般が緩慢となり、「動作がもたつく」「手際が悪くなった」と感じられることも少なくありません。

専門外来① | 水頭症外来

外来実施日：毎週金曜日午後

当院では成人の水頭症に対応いたします。主に高齢者に生ずる特発性正常圧水頭症や外傷や脳卒中後に生ずる続発性正常圧水頭症について、検査（画像検査ならびに髄液排除テスト）や治療（水頭症シャント手術）の相談をする専門外来です。

専門外来② | 血行再建外来

外来実施日：毎週火曜日午後

この外来では、内頸動脈や中大脳動脈などの主幹動脈の閉塞や高度狭窄にて生ずる脳梗塞に対し血行再建（バイパス手術等）を含めた治療を相談する専門外来です。もやもや病（虚血発症、出血発症を問わず）や動脈硬化に伴う脳梗塞などが対象となります。

神経疾患の診療

ぐるぐる目の回る感じやふわふわ宙に浮いたような感じのめまいの症状に困っていませんか？原因は良性発作性頭位めまい症によるものや脳卒中によるものなどさまざまです。

当院では日本めまい平衡医学会めまい相談医の医師が中心となり、専門機器を用いて正確な診断と適切な治療に努めています。



◆神経難病とその治療

神経難病とは、脳、脊髄、末梢神経などの異常により身体機能が低下していく病気のなかでも、とりわけ治療が難しく、根治が難しいものをいいます。難病法により指定を受けている指定難病は疾病の特性と重症度によって医療費助成を受けることができます。代表的なものにはパーキンソン病や脊髄小脳変性症、ALS（筋萎縮性側索硬化症）などがあります。

神奈川県難病医療支援病院に指定されている当院では、難病の診断や治療に加え、胃ろう交換や人工呼吸管理などの在宅支援、緊急時の患者さんの受け入れを行っています。

◆当院の取り組み

「地域に根差した病院として」

当院では地域包括ケア病棟を中心に、地域で療養されている神経難病患者さんの診断・投薬調整などの治療をはじめ、感染症や、転倒による骨折などの合併症に対する治療、他院の急性期病棟で加療された後のリハビリテーションや在宅環境調整のための入院を広く受け入れています。

在宅で療養する患者さん家族の介護休暇を目的とした入院（レスパイト入院）も積極的に受け入れています。在宅人工呼吸器使用や胃ろうからの経管栄養など医療ケアの多い患者さんの受け入れを積極的に行っています。

城倉健病院長が、米国ベストドクターズ社が発表する「The Best Doctors in Japan 2024-2025」に選出されました。



専門外来③ | もの忘れ 神経難病外来



レスパイト入院を
もっと詳しく



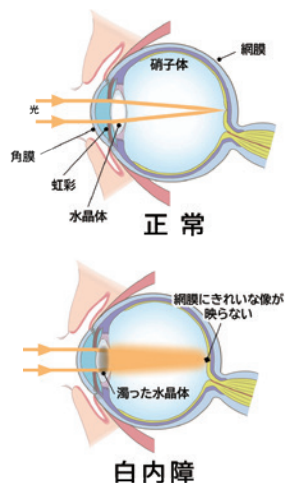
白内障の治療

白内障とは、目の中での光を網膜に届ける役割を持つ水晶体が白く濁る病気です。水晶体が濁ると網膜に光が届きにくくなるため、視界がかすんだり、まぶしく感じたりします。進行すると視力が低下し、眼鏡での矯正が難しくなる場合があります。

白内障の最も多い原因は加齢です。

その他、外傷や他の目の病気に続いて起こるもの、薬によるもの、先天性のものなどがあります。加齢による白内障は、早い人では40代から発症することがあり、80代ではほぼ全員に白内障が見られます。

白内障になると、初期のうちには薬によってその進行を遅らせることができる場合がありますが、完全に治療することはできません。白内障が進行して視力が低下する場合には、濁った水晶体を取り除く手術が必要になります。



◆主な症状

白内障の症状は徐々に現れ、初期は自覚症状が少ないこともあります。

- ・視界がかすむ、ぼやける
- ・光がまぶしく感じる(特に夜間の車のライトなど)
- ・物が二重に見えることがある
- ・視力低下が進行し、眼鏡での矯正が困難になる

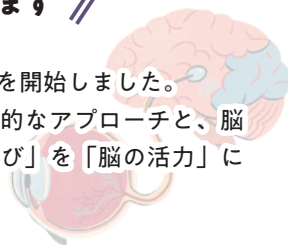


◆当院の取り組み

\\ 健やかな視界が、脳を若々しく保ちます //

令和8年4月より眼科外来を新設し、手術・入院を含む眼科診療を開始しました。

当院では、眼科と脳神経内科が緊密な連携をとり、眼科の専門的なアプローチと、脳神経のメカニズムへの深い理解を掛け合わせ、皆様の「見える喜び」を「脳の活力」に変えるサポートをいたします。



腰痛・首の痛みの治療

◆特徴

当院の整形外科は、頸椎・胸椎疾患、脊髄疾患、側弯症などの脊柱変形の手術を数多く安全に行っています。

また、**専門外来**として**側弯・脊柱変形外来**を開設しております。外来・入院・手術を含め、**思春期特発性側弯症**の患者さんが特に多くかかれています。発症する時期は、乳児期（3歳未満）、幼児期（3歳～10歳）、思春期（10歳以降）に分類され、大部分は幼児期の後半から思春期に発生します。脊柱側弯症とは、右の画像のように正面から見た時に側方に曲がり（側弯）、さらに椎体のねじれ（回旋）が伴う状態です。



専門外来④ | 側弯・脊柱変形外来 外来実施日：毎週火・木曜日

側弯症の診断（「sterEOS(イオス)イメージングシステム」導入施設）

脊柱側弯症に対する診断および治療には専門的な知識や技術、経験が必要となります。特に小児は成人より放射線感受性が高いためレントゲン撮像を減らすことが重要です。この装置では放射線量を従来のX線撮影の1/10以下、CT撮影の1/20～1/170にまで低下させて全脊柱を撮影することができます。

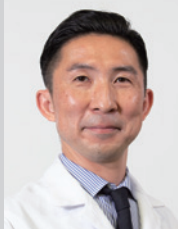


また、当院では近年増加傾向の成人脊柱変形矯正手術も積極的に行っています。

以前までは成人・お年寄りの腰曲がり・脊柱変形に対する適切な手術方法がなく、そのような患者さんで日々困っているような方がいても対症療法を行うことしかできませんでした。

しかし昨今、成人・お年寄りの腰曲がり・脊柱変形は手術に耐えられる体力と治療意欲があれば、多くが治せる時代となりました。腰が曲がって辛いことを「年だから」と治療を諦めてしまっている患者さんが多いですが、まず腰曲がりによる難治性疼痛を病気と認識して頂くことが大事です。

病気であれば、治療できる可能性があります。是非一度お気軽にご相談ください。



山田 勝崇
副病院長・整形外科部長

専門資格

日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医
日本脊椎脊髄病学会指導医

その他にも様々な脊椎・脊髄の治療を提供しています。

手足のしびれや力が入らない、手指や下肢がぎこちないなど様々な症状を引き起こす病気も扱っていますので、まずはご相談ください。



脊柱側弯症って
どんな病気？



小児側弯症って
どんな病気？





ひざの変形のある人は全国で約2500万人いるといわれ、このうち約800万人が痛みを訴えています。ひざの疾患等による歩行困難はロコモティブシンドローム※の大きな要因です。健康寿命をのばすためにもひざの疾患の早期発見と適切な治療が必要です。

※ロコモティブシンドローム…立つ・歩く・座るなどの機能が低下した状態。

◆治療法

01



薬による治療

ひざの変形が軽い場合は、鎮痛剤などの内服薬により痛みを抑えることができます。また、定期的なヒアルロン酸注射により痛みが和らぐこともあります。

関節を人工関節に置き換える 02

症状が進んでも「人工関節置換術」が受けられます。

すべてを取り換える全置換は日本では年に10万件近い手術が行われています。最近では人工関節の種類が増え、一人ひとりに合った関節が作れるようになりました。



03



ひざを温存する手術

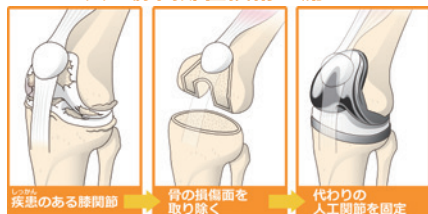
他にも、ひざが内側に反ってしまったり、伸び切らない変形など、症状に合わせた「高位脛骨骨切り術」というひざを温存する手術も行っています。

◆安全性への取り組み（人工関節支援ロボット導入）

正確な骨切りと靭帯バランスの調整は、これまで術者の経験と技量、さらに感覚に大きく依存してきました。ROSA Kneeの光学ユニットを使用することで、骨切りジグを固定するピンの緩みなどによる術前計画目標とのずれも適切に補正し、より安心感のある手術を実施することが可能となりました。

変形性膝関節症で疼痛や可動域制限で歩行能力の制限をきたしたご高齢の患者さんに、ロボット手術支援機器を用いることにより、疼痛のない、安定した、より機能的な膝関節を実現しています。

～人工膝関節置換術の流れ～

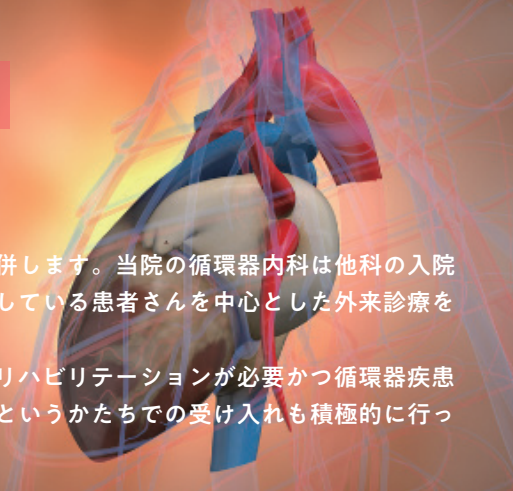


人工関節支援ロボット



変形性ひざ関節症ってどんな病気？





脳血管疾患は高い確率で心疾患を合併します。当院の循環器内科は他科の入院患者さんのサポートや他科外来に通院している患者さんを中心とした外来診療を行っています。

また、横浜市内の急性期病院から、リハビリテーションが必要かつ循環器疾患を有する入院患者さんについて、転院というかたちでの受け入れも積極的に行っています。

◆循環器疾患とは

血液を全身に循環させる臓器である心臓や血管などが正常に働かなくなる疾患のことで、高血圧・心疾患・脳血管疾患・動脈瘤などに分類されます。

◆心臓リハビリテーション

令和3年11月から近隣の医療機関と連携を取りながら、心臓リハビリテーションを開始しました。

対象となる疾患は、虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞）、慢性心不全、開心術後、経カテーテル大動脈弁置換術後、肺動脈性肺高血圧症または慢性血栓塞栓性肺高血圧症、大血管疾患（大動脈解離、大動脈瘤、大血管手術後）、末梢動脈閉塞性疾患です。

当院では、循環器内科医、理学療法士、看護師によるチーム医療体制で、心肺運動負荷検査（CPX）と運動療法（有酸素運動、レジスタンストレーニング）を中心にを行うとともに、生活の中で患者さんご自身が運動の管理を行えるように支援します。

心臓リハビリテーション（心リハ）とは、心血管疾患の再発・重症化を予防するための総合的なプログラム（運動療法、服薬・食事・生活指導、社会復帰支援、カウンセリング等）のことで、心臓リハビリテーションを行うことで、心不全や心筋梗塞の再発・再入院が減り、死亡率が減少することが報告されています。



**Y-Hearts
PROJECT**

Yokohama Cardiac Rehabilitation

もっと
くわしく! /



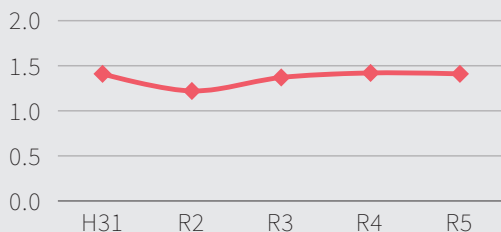
◆リハビリテーションの特徴

患者さんの病気は脳卒中、脊髄損傷、頭部外傷、骨折、四肢切断、神経筋疾患等さまざまです。どんな生活を送りたいかも一人ひとり違います。経験豊富なリハビリテーション科専門医とスタッフが協力し、的確なゴールに向けたリハビリテーションに取り組んでいます。

◆早期リハビリテーション

急性期医療機能を活かした、
早期リハビリテーションに力を入れています

入院からリハビリ開始までの平均日数は毎年1.5日未満に保たれており、95%以上の患者さんに対し入院から3日以内にリハビリが開始されています。



「動ける可能性」
に積極的に取り組む



◆回復期リハビリテーション

リハビリテーション科専門医をはじめとする
多職種連携による効果的なリハビリテーション

他医療機関にて急性期治療を受け、状態が安定したのち、当院へ転院された方々に対しても専門の治療を行っています。365日体制で病棟スタッフと緊密な連携を図り、より集中的なリハビリテーションを行える環境を整えています。

転院をご希望の方は、現在ご入院中の病院に当院を検討している旨をお伝えください。

専門外来⑤ | もの忘れ外来

認知症は早い段階で診断を受け、
治療を開始することが重要です。



外来実施日
毎週月曜日午後

こんな症状はありませんか？

- ・最近あった出来事をすっかり忘れてしまう。
- ・物をなくしたり置き忘れてたりすることが増えた。
- ・些細なことで怒るようになった。

もの忘れの専門外来を受けたいときは？

「もの忘れ」が認知症によるものかどうか疑いのある方に向けて専門外来を実施しています。初診は約30分間の丁寧な診療のあと、脳画像や血液、心理などの検査を行い、診断結果をかかりつけ医あてにお送りします。

予約制のため、受診をご希望の方は、電話にて医事課予約受付よりお申し込みください。

専門外来⑥ | 頭痛・血管内治療外来



外来実施日：毎週金曜日午前



頭痛患者さんは日本に約3,000万人いると言われるほど、ありふれた病気ですが、その大半が適切な医療を受けられていないと言われています。頭痛発作により会社や学校を休まざるを得ないといった社会的・経済的損失も問題となっています。

頭痛外来では頭痛専門医が問診及び必要に応じて画像検査を行い、脳腫瘍などによって引き起こされる危険な二次性頭痛を見逃すことなく、患者さんの大多数を占める片頭痛などの一次性頭痛を適切に診断し、治療へつなげていきます。

脳の健康診断

脳ドック

×

もの忘れドック

もっと
くわしく！



こんな方がおすすめ

- ✓ 高血圧などの生活習慣病がある
- ✓ 日頃からストレスが多い
- ✓ お酒やたばこの量が多い
- ✓ もの忘れが気になる
- ✓ 脳や頭部の病気が心配
- ✓ 脂っこい、味付けの濃い食べ物が好き



脳ドック

コース	実施曜日
標準コース	月・水・金※
MRコース	第2・4土曜日

※標準コースのオプションである心臓ドックにつきましては、水曜日のみの実施となります



もの忘れドック

対象	実施曜日
日常生活に支障がない「もの忘れ」がある方や、「もの忘れ」が認知症によるものかどうか気になる方など	毎週火曜日

予約制

電話・WEB又は来院して1階初診受付でお申し込みください。

お電話でのお申込はこちら

045-753-2500（代表）
電話受付：平日 8：30～17：00

WEBでのお申込はこちら



フロアマップ (1階)



施設・設備について



Reception

① 初診受付



Reception

② 外来受付



Shop

③ コンビニエンスストア

飲食物のほか、入院生活に必要な物品も販売しています。

④ 年中無休：7:00～21:00



Parking

駐車場 (B2F・平面)

料金：3時間まで310円 (最初30分無料)、以後1時間毎に100円

※入院中の車の留め置きはご遠慮ください。

⑤ B2F：8:00～17:00

平面：24時間

交通案内



「脳卒中・神経脊椎センター」バス停 (敷地内) に乗り入れるバス

電車	バス
JR根岸線「根岸駅」	市営バス135系統 (11分)
市営地下鉄「吉野町駅」	シャトルバス (17分)
京急「南太田駅」	シャトルバス (13分)



近隣のバス停もご利用になれます。

電車	バス
JR根岸線「磯子駅」	市営バス9系統・78系統「滝頭地域ケアプラザ前」下車徒歩5分 市営バス113系統「根岸橋」下車徒歩8分
市営地下鉄「吉野町駅」	市営バス113系統・156系統「根岸橋」下車徒歩8分
市営地下鉄「弘明寺駅」	市営バス9系統「滝頭地域ケアプラザ前」下車徒歩5分
市営地下鉄・京急「上大岡駅」	市営バス113系統「滝頭地域ケアプラザ前」下車徒歩5分

横浜市立脳卒中・神経脊椎センター TEL045-753-2500 (代表)

〒235-0012 神奈川県横浜市磯子区滝頭1丁目2番1号

令和8年4月版

